

# 令和6年度 自己評価・学校関係者評価書(結果公表シート)

海の星鷺の宮幼稚園 令和7年3月13日

## 幼稚園の教育目標

心情豊かな優しい子ども 自分で考え行動できる子ども 元気に活動するたくましい子ども

### 1.本年度の重点課題(学校評価の具体的な目標や計画)

- ①ひとり一人の子どもと向き合い、寄り添いながら、自分のことが好きな子どもを育てる。
- ② 保育内での実体験の場を大事にすると共に、ごっこ遊び等で人とのコミュニケーションを深める。
- ③保育者の質の向上と、教育理念に基づいた教育の提供をするための工夫、研修を行う。
- ④ 満3歳児保育の充実と子育て支援を積極的に行い、入園児の確保に努める。

### 2. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	結果	理由	学校関係者評価
1	保育の計画性	A	教育課程の見直しと、役割分担の徹底を並行して行い、園児も保育者も余裕をもって活動できることを目標として取り組んだ。大きな行事の形式や演目も定着しつつあり、導入から活動終了まで計画的に進むことが多かった。	A
2	保育のあり方 幼児への対応	A	一人ひとりの傾向や特徴にあった対応を心掛けた。臨床心理士によるソーシャルスキル研修をもとに、子どもを理解することを大切にしてきた。子どもをより総合的に見るようにすると共に、必要な情報を保護者に伝える心がけた。保育内容は『本物に触れる』を合言葉にし、ネットの世界から切り離すことを意識した。	A
3	教師としての資質、能力、 良識、適正	A	園内・外の研修へ参加したり、職員会議を多く持って若手教員の育成に務めた。丁寧な仕事はできているが、効率性や持続性が難しいと感じる。コミュニケーションの取り方は課題である。	A
4	保護者への対応	B	連絡帳、電話、コースで会った時など、保護者の方とコミュニケーションをとる努力をしてきた。が、保護者の方が求めている相談方法、情報提供の方法が何かを理解することが必要だと感じる。	B
5	地域の自然や社会との かかわり	C	自然や地域の人との関わりについては、全職員の課題として挙げられている。具体的な方法を模索する必要がある。	B
6	研修と研究	B	若手教員は研修参加率を高められたと思う。が、それを保育者同士で深めたり、研究を重ねることはなかなかできていない。	B
7	外部アンケート	A	園児ひとり一人を大切に、そしてそれぞれの保護者様の気持ちに寄り添うことを心掛けてきた。が、今後も工夫と努力が必要であると感じている。	A

\* 結果の表示方法 A 十分達成されている B 達成されている C 取り組まれているが成果が十分に出ない D 取り組みが不十分

#### 4、本年度の重点課題の総合的な評価結果

あるクラスで始まったごっこあそびを、幼稚園全体に広げ共有させた。この体験は子どもたちの活動を盛り上げただけでなく、経験の浅い保育者たちへの具体的な提示にもなり、来年度以降の保育にも良いきっかけとなった。あそびを一方向的に与えるのではなく、子どもの意見や発想を汲みながら更に深めていくこと、おもちゃを含む環境設定を見直し、あそびを活性化させること、保育者間のコミュニケーションをより密にすることなどが、今後も引き続きの課題として考えられる。

ほしのごフェスタの開催で未就園児の来園者が増えた。それに伴い満3歳児の入園数も増加したので、来年度以降もフェスタを計画的に開催し、当園の認知度を上げていきたいと考えている。

#### 5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
地域（自然）との関わり	<ul style="list-style-type: none"><li>・園外保育等を実現可能なことを模索していく。</li><li>・職員の苦手意識を減らしていく。</li></ul>
教員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"><li>・それぞれの得意分野を生かし、研修できる環境を整える。</li><li>・発達がゆるやかな子どもへの対応方法を学ぶ。</li><li>・時間的、精神的な余裕を持てるよう業務を見直す。</li></ul>
保護者との関り	<ul style="list-style-type: none"><li>・園から、保護者に対して、積極的に声をかけていく。</li><li>・保護者の方が話しかけやすい環境、機会を更に増やすよう努める。</li><li>・おうちえん、ホームページの充実を図る。</li></ul>

#### 6、学校関係者評価委員からのコメント

先生方が、園児のために熱意をもって努力されていることを感じます。来年度の目標も明確にあることがわかったので、外部の人（地域住民や学校評価委員など）も、幼稚園の魅力を伝える宣伝活動に、積極的に関わっていきたいと思います。